

令和6年度 学校関係者評価

春日部市立粕壁小学校

【学校教育アンケートの結果から】

- ・グラフの数値を見ると、保護者の回答傾向と児童の回答傾向が似ている。課題と思われる部分に重点を絞って対策をとると効果は上がると思う。
- ・こどもたちが自分の生活や学校での学習に対して肯定的にとらえている。大変良い傾向だと思う。
- ・できているところをさらに伸ばす教育活動の展開を今後も期待する。
- ・「そう思わない」との回答を0にするのは大変難しいと思う。「賛成」対「反対」が51対49であったとしたら51を優先するときもある。
- ・あいさつについては、校内ではできていると感じている。朝の登校時のあいさつについては、粕小に限らず様々な学校で同様の状況がある。引き続き根気強く指導していくことは必要である。
- ・登校指導をしてくれる方への感謝の気持ちを表すなど、なぜあいさつをするのかということを指導することも大切だと思う。
- ・運動発表会の午前中での開催について、今までと違うと保護者の方は違和感を持つのではないか。働き方改革、職員の長時間労働の問題、児童の健康管理、他校の実施状況等も含めて保護者へ説明と周知をするとよいのではないか。
- ・運動会でのリレー等は順位付けがなされるものであり、また、組体操や騎馬戦は重篤なけがにつながる恐れもあることから、全国的にも実施しない学校が増えていると聞いている。
- ・運動発表会が半日開催となった要因に練習時間の削減が挙げられたが、昨今の厳しい残暑、40度に迫る気温も考慮する必要がある。
- ・運動発表会では中学校や高校とのつながりがあってもよいのではないか。
- ・全国的に教員不足が言われている。一方で教員や学校への期待度は依然として高いままであり、「あれもこれも学校で」という風潮はいまだにあると思う。
- ・登校時刻については、個々の保護者の状況や考え、日課表とのかかわりから、短期間で大幅に変更することは難しいであろう。保護者の理解を得るための丁寧な説明とある程度の時間が必要であると考える。
- ・粕壁小は働き方改革がうまく機能しているように感じる。ただし、働き方改革とは、単純に勤務時間を削減することではない。児童の教育活動の充実やさらなる向上と働く職員が夢をかなえられるような改革を望む。
- ・経験の浅い職員も多い中ではあるが、粕小職員としての誇りや自信、信念を持ちつつ、チームで支え合っていってほしい。そして、粕小の伝統を教職員が楽しみながら継承していってほしい。